

碧南市防災会議 会議録

1 日時

令和2年2月5日（水）午後2時から午後3時まで

2 場所

碧南市役所7階 議員大会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

- 瀬田 政信（碧南市長）
松井 高善（碧南市副市長（防災統轄監））
谷 克晴（衣浦海上保安署長）
酒井 佳治（国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所長代理）
原田 徹（陸上自衛隊第10特科連隊第3大隊長代理）
岡本 晋五（愛知県碧南警察署長代理）
加藤 明弘（衣浦東部広域連合碧南消防署長代理）
瀬瀬 賢二（愛知県西三河県民事務所長代理）
花井 陽一（愛知県衣浦港務所長代理）
磯部 尚孝（愛知県衣浦東部保健所長代理）
鈴木 並生（碧南商工会議所会頭）
三島 孝二（あいち中央農業協同組合碧南地区担当理事）
長田 和久（碧南市医師会副会長）
水野 博史（碧南歯科医師会長）
中根 秀樹（碧南市薬剤師会副会長）
石川 鋼逸（碧南市消防団長）
石川 和昌（碧南市連絡委員代表幹事）
浅井 たみ子（碧南市赤十字奉仕団委員長）
岡庭 勝（西日本電信電話株式会社名古屋支店設備西三河フィールドサービスセンター長代理）
板倉 由美子（中部電力株式会社電力ネットワークカンパニー刈谷営業所長代理）
新美 宗和（碧南ガス協同組合代表理事）
石橋 嘉彦（碧南市災害復旧協議会長）
石井 和哉（碧南市臨海工業地帯防災連絡協議会長）
梶川 幹洋（碧南電設業協同組合代表理事）
加藤 裕子（株式会社キャッチネットワーク代表取締役社長代理）
杉浦 邦俊（碧南市社会福祉協議会長）
永坂 幸子（碧南市女性防火クラブ連絡協議会長）
生田 弘幸（碧南市教育長）
中村 正典（碧南市建設部長）

(2) 欠席者

- 山口 隼人（国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所長）

川地 史温 (愛知県知立建設事務所長)

金沢 宏治 (碧南市総務部長)

永坂 智徳 (碧南市経済環境部長)

黒田 敏裕 (碧南市開発水道部長)

(3) 事務局

鳥居 典光 (市民協働部長 (防災監))

川村 哲弘 (防災課長)

磯貝 和広 (防災課防災計画係係長)

加藤 徹 (防災課防災計画係主事)

梅木 純一 (防災課防災計画係主事)

4 傍聴者 2名

5 議題

(1) 大規模災害時における医療救護体制の変更について

(2) 碧南市地域防災計画修正(案)について

(3) 碧南市水防計画修正(案)について

6 その他

(1) 碧南市避難所運営マニュアル改定について

(2) 碧南市津波避難マップについて

(3) 碧南市地震対策減災計画における平成30年度の各課取組について

(4) 避難施設の変更について

(5) 令和元年度の災害状況報告について

(6) 防災会議のペーパーレス化について

7 議事の要旨

(1) あいさつ (瀬戸田政信会長)

(2) 議題

ア 大規模災害時における医療救護体制の変更について

事務局が会議資料に基づき、医療救護体制を変更する案について説明。

その後、審議した結果、事務局案が承認されたが、下記の質疑があった。

Q 1 医療救護所の設置場所を新川地区、棚尾地区の2カ所を予定しているが、西端からだと行くことが難しいと思われる。その点も配慮が必要ではないか。

A 1 碧南市における医療関係者の人員数において、医療救護所を2カ所設置することで精一杯であるため、外部からの救援等があるような状況であれば、拡大を検討したい。

Q 2 碧南市民病院はどのような扱いとなるか。

A 2 碧南市民病院を始め、病床を持つ病院は、医療救護のための参集はせず、それぞれの病院で医療活動をしていただく想定でいる。

イ 碧南市地域防災計画修正(案)について

事務局が会議資料に基づき、碧南市地域防災計画修正(案)について説明。

その後、審議した結果、事務局案が承認されたが、下記の質疑があった。

Q 物資集積所について、物資を受け取るだけではなく荷捌きが必要なため、市役所では避難住民が来て混乱してしまうことが考えられ、碧南高校ではスペース不足ではないか。また、臨海部に耐震岸壁が整備されており、海上から救援物資を受けることも想定して、港側にも物資集積所を検討してはどうか。

A 耐震岸壁から市役所まで物資を運搬する訓練を実施しているが、液状化等で道路が通行できない可能性も踏まえ、適切な場所があれば今後、追加指定を検討していきたい。

ウ 碧南市水防計画（案）について

事務局が会議資料に基づき、碧南市水防計画（案）について説明。

その後、審議した結果、事務局案が承認された。

(3) その他

事務局が会議資料に基づき報告。下記の質疑及び意見があった。

ア 碧南市避難所運営マニュアル改定について

(質疑)

Q 碧南市では東日本大震災以降、被災地に職員を派遣していたが、派遣された職員から意見を聞いて、マニュアルに反映させているか。

A 被災地に派遣された職員は、避難所開設や運営に関して従事をする業務ではなかったため、今回の改訂においては、意見を聞いていない。

今回の改訂では、防災課職員が台風19号で被災した長野市の避難所を視察した内容や、市内の団体の方から過去の震災時に避難所支援をされた経験を踏まえた意見をいただき、マニュアルに反映している。

イ 碧南市津波避難マップ

(質疑)

Q 津波避難マップは、配って終わりではなく、地区に出向いて説明する必要がある。

A 令和2年度になるが、自主防災会を通して、浸水想定がある地域へは防災課職員が出向いて説明をしていく予定である。また、出前講座でも合わせて説明を行っていく。

(意見)

津波避難マップは、市民にとって分かりやすい資料であると思う。津波避難マップのように、市民向けに見える化した資料を作成配布して、その資料をどんどん活用していくことが良いと思う。

ウ 碧南市地震対策減災計画における平成30年度の各課取組について

(質疑)

Q 災害廃棄物基本計画の策定は完了しているのか。災害時は、震災がれきりが大きな問題となってくるため、集積場所はあらかじめ決めておく必要がある。

A 災害廃棄物基本計画は平成30年度に策定をされている。集積場所についても事前に定めており、臨海部を中心に設置する計画となっている。

エ 避難施設の変更について

質疑及び意見なし

オ 令和元年度の災害状況報告について

質疑及び意見なし

カ 防災会議のペーパーレス化について

(意見)

ペーパーレス化することは良いと思うが、CDにコピーして渡すだけでは災害時に活用できないリスクも考えられる。災害時に何をしてよいか分からず動けなくなってしまうことは避けたい。このようなことも配慮した対応を来年度までに検討していただきたい。